

2024 年度の自己点検自己評価の結果

評価項目	自己点検・自己評価結果	
	点数	評価の概要と今後の課題
I 教育理念・目的	4.4	教育理念、目的は整合性があり、当校の独自性も示されている。昨年度と比較すると教育目的が1点上がっている。自己点検・自己評価をしたことで教育理念、目的を見直す機会となり教職員の意識づけにつながっていると考えられる。しかし、わからないと答えているものもいることから昨年に引き続き周知、理解してもらうことが必要である。
II 教育目標	4.4	
III 教育課程経営	3.8	昨年と比較すると変化はない。昨年同様、教員の授業準備のための時間数が不足していると答えているものの割合が多かった。昨年の評価で学生対応などによって教員の授業準備時間不足が生じている可能性もあるということであったため年間の学生対応時間を確認した。今後は収集したデータを全体で共有し相互で協力しつつ、データとしては不十分な面もあるため引き続きデータを収集していくこととする。また、新カリになり3年経過したため教育課程全体をみえる化し、関連する授業などに教員が参観できるように調整をしていくことが必要と思われる。さらに、昨年に引き続き、教育活動を行う上で必要な文書を整えていく。
IV 教授・学習・評価過程	3.8	この項目も昨年と同様の点数となっている。ただし、「教育目標の達成状況をさまざまな教育活動を通して把握している」の項目でわからないと答えている割合が多くなっている。担当する科目については理解できているが潜在カリキュラムも含めカリキュラム全体が見えていない可能性がある。やはり、この項目でも教育課程全体をみえる化していく必要性がみえたため今後の課題とする。
V 経営・管理過程	3.1	昨年と比較しても変化はない。全体を通してわかないと答えているものが多くなっている。教職員全体が経営的視点をもち参画してもらうためにも学校の収支の概算について事務から報告してもらったり、授業で使用する消耗品の金額を個々人で明示してもらいどのくらいの経費が掛かるのかなど実態を把握してもらうことも必要と思われる。また、運営の計画、実施、評価については学生確保の観点からも整えていくことが必要であり今後の課題である。
VI 入学	3.7	昨年と比べ点数はアップしている。特に入学選抜基準や入学生の確保についての項目が上がっている。わからないと答えているものがいなかった。これは、今年度アドミッションポリシーを明文化したこと、入学生確保に向けた広報委員の立ち上げやインスタの開設、学校訪問数増加など広報活動を拡大したことにあると考えられる。次年度以降も行っていきたい。ただし、在校生の成績と入学生の関連性では十分分析できていないこともあり、今後にもむけての継続課題である。

評価項目	自己点検・自己評価結果	
	点数	評価の概要と今後の課題
VII 卒業・就職・進学	2.6	昨年より点数が減少している。卒業時の到達状況については、卒業時の自己評価、技術体験録の分析を行っているが、卒業生の動向についての調査が十分できているとはいえない状況にある。当校は附属看護学校という強みがあり、その時々で看護部と連絡、報告はしている。しかし、それを文書として明文化していない。次年度は卒業生の調査などの実施にむけて看護部と協力して体制を整えていきたい。
VIII 地域社会	2.4	昨年より点数はやや上昇している。今年度は、中学生の学校訪問の受け入れや幼稚園への講師派遣などを行った。しかし、相手側から希望されて実施しており、こちらからの積極的な働きかけとは言えない。コロナ禍も明けてきていることからボランティア活動など地域へ積極的に発信していくことは必要である。
IX 研究	1.4	昨年に引き続き低い項目とである。研究時間の確保、指導体制が不十分と答えているものが多く、研究的な素地ができていないことが要因と思われる。教育課程など必要な状況が整い軌道に乗ったタイミングで行っていく必要がある継続課題である。

